

会 員 各 位

平成19年度第58回大会は、下記のとおり開催の運びとなりましたので、会員諸氏におかれましては是非ご出席いただきますようご案内いたします。

1. 日 時 : 2007年10月6日(土)・7日(日)
2. 会 場 : 天 理 大 学
3. 大会プログラム

第 1 日 10月6日(土)

- 1) 公開講演 13:00~16:30 (9号棟)

I. 新羅の遣唐使と崔致遠

九州大学大学院教授 濱 田 耕 策 氏

II. 朝鮮朝宮中文学の特質

江南大学校教授 鄭 恩 任 氏

- 2) 総 会 17:00 (公開講演終了次第) ~ 17:45 (9号棟)
- 3) 懇 親 会 18:00 ~ 心光館食堂

第 2 日 10月7日(日)

- 4) 研究発表会 9:00~

◆第1部門: 語学分野 ★第1会場 (2号棟23A)

《(講)非常勤講師/(研)研究員/(院)大学院生》

1. 文末表現「것이다」のスコープ機能 麗澤大学(院) 丁 仁 京
2. 韓国語の先語末語尾「-겠-」の対人的機能 麗澤大学(院) 李 憲 卿
3. '아래'와 '밑'의 결합관계에 따른 의미 연구 延世大学校 劉 賢 敬
慶北大学校 南 姑 任
4. 韓国語の먹다は日本語でいかに現れるか 東京外国語大学(院) 高 槿 旭
5. 動詞の連体形と自立的な名詞の共起をめぐって 東京外国語大学(院) 金 民
6. 日本語の「する」は韓国語でいかに現れるか
一翻訳テキストを用いた表現様相の研究一 明治学院大学(講) 金 恩 愛

7. 日本語の属格 {の} と韓国語の属格 {의} について

一NP1とNP2の間に見られる統辞的・意味的關係を中心の一 東京外国語大学(院) 韓 必 南

8. 朝鮮語 Web 辞典の設計について 同志社大学 油 谷 幸 利
9. 韓国語 助詞 '만'과 '도'의 統辭와 意味 翰林大学校 林 東 勳

◆第1部門: 語学分野 ★第2会場 (2号棟23B)

1. 初刊本『分類杜工部詩諺解』の傍点表記に反映されたいくつかの言語現象 東京外国語大学(院) 杉 山 豊
2. 延边朝鮮語の二字漢字語のアクセントについて
一中期朝鮮語との対応關係から一 東京外国語大学(院) 池 鳳 花
3. 韓国語上級学習者のディクテーション分析 関西大学(院) 前 田 真 彦
4. 소위 P>K 교체 현상에 대한 재고 韓国外語大学校 許 龍
5. 日本語母語話者の韓国語疑問文における文章終結イントネーションの研究 東京外国語大学 金 鐘 徳

◆第2部門: 文学分野 (2号棟24A)

1. 日韓民衆教化書と忠義譚との関連についての比較試論 大阪市立大学(院) 金 子 祐 樹

2. 高麗後期、特に元の干渉期における護国思想の一例
 一 閔漬撰「金剛山楡岾寺事蹟記」を中心に— ソウル大学校(院) 坂田 沙代
3. 朝鮮戦争期の北朝鮮作家とその作品について 下関市立大学(講) 西山(小野)順子
4. 19世紀の朝鮮古典小説『布衣交集』と『玉楼夢』にみられる「知己」について
 早稲田大学(講) 山田 恭子
5. 韓国芸能における神明「アリ」の特徴に関する研究
 一 カンガンスルレと霊山牛頭デキを中心に— 東北大学 金 鉉 哲
6. 「外地＝植民地」という経験をめぐって 東北大学 佐野 正人
7. 20世紀の『春香伝』と近代読者の誕生 ハーバード大学大学院・早稲田大学(研) 權 敬 美
8. 朴花城の長篇『崖に咲く花』から読み取れる作家意識について
 県立新潟女子短期大学 山田 佳子
9. 「金講師とT教授」(兪鎮午・作)の改作問題について 下関市立大学 白川 春子
10. 梅月堂金時習『金鰲新話』の和刻本
 一 その成立と特質— 同志社大学 邊 恩 田

◆第3部門：歴史学・民族学・考古学・その他の分野（2号棟22A）

1. 集安高句麗王陵の最近の調査・研究をめぐって
 一 瓦の研究を中心に— 奈良文化財研究所 千田 剛 道
2. 高句麗の対倭外交について 京都府立大学 井上 直 樹
3. 金石文資料を通してみた6世紀の新羅の教と法 高麗大学校民族文化研究院 篠原 啓 方
4. 17世紀初頭朝鮮における薬用人参政策の定立とその意義 東京大学(院) 辻 大 和
5. 近代東アジア国際秩序の変容と朝日修好条規 東北亜歴史財団 金 旼 奎
6. 日本統治時代にブラジルへ移住した朝鮮人
 一 韓国系コロニアの礎となった「三田ハラボジ」こと張昇浩—
 大阪経済法科大学(研) 全 淑 美
7. 都市社会における韓国系移住者の流入・定着過程
 一名古屋市の在日コリアン、新来韓国人、中国朝鮮族を事例に— 天理大学 魯 富 子
8. 門中組織と郷村中人
 一 朝鮮後期農民層文化と関連した二つの社会相— 地域文化研究所 鄭 勝 謨

☆大会に参加される方は、準備の都合上、9月17日までに欠席についてご回答ください。

☆大会参加費（1,000円）、懇親会費（3,000円）は、当日受付に納めてください。

☆総会の議題として語りたいことがあれば、9月25日までに申し出てください。

☆宿泊を希望される方は、下記の施設に直接交渉してください。

1. 天理教第17母屋（八木大教会信者詰所：1泊朝食付きで1,300円、洗面具各自持参。和室10畳室に2~3名相部屋。担当者：政田氏宛に直接申し込んでください。）Tel.0743-62-0085
2. 天理観光ホテル Tel.0743-62-4101 3. 奈良プラザホテル Tel.0743-64-3555
4. 北大路ホテル Tel.0743-62-4401 5. 旅館 喜楽荘 Tel.0743-62-1668

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050 天理大学内
 Tel.0743-63-9060 / Fax.0743-62-1965（天理大学気付）

朝 鮮 学 会